

みずほCustomer Desk Report 2019/01/31号(As of 2019/01/30)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.43
TKY 9:00AM	109.42	1.1435	125.13	GBP/USD	1.3082
SYD-NY High	109.75	1.1501	125.46	AUD/USD	0.7158
SYD-NY Low	108.81	1.1406	124.90		
NY 5:00 PM	109.05	1.1479	125.18		
NY DOW	25,014.86	434.90	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,183.08	154.79	日本10年債	0.0015	0.15bp
S&P	2,681.05	41.05	米国2年債	2.5081	▲6.36bp
日経平均	20,556.54	▲108.10	米国5年債	2.4833	▲6.11bp
TOPIX	1,550.76	▲6.33	米国10年債	2.6766	▲3.23bp
シカゴ日経先物	20,805.00	175.00	独10年債	0.1875	▲1.05bp
ロンドンFT	6,941.63	107.70	英10年債	1.2525	▲1.40bp
DAX	11,181.66	▲37.17	豪10年債	2.2490	1.50bp
ハンセン指数	27,642.85	111.17	USDJPY 1M Vol	6.61	▲0.25%
上海総合	2,575.58	▲18.68	USDJPY 3M Vol	7.18	▲0.09%
NY金	1,309.90	1.00	USDJPY 6M Vol	7.60	▲0.12%
WTI	54.23	0.92	USDJPY 1M 25RR	-1.05	Yen Call Over
CRB指数	180.11	0.94	EURJPY 3M Vol	7.89	0.03%
ドルインデックス	95.41	▲0.41	EURJPY 6M Vol	8.27	▲0.01%

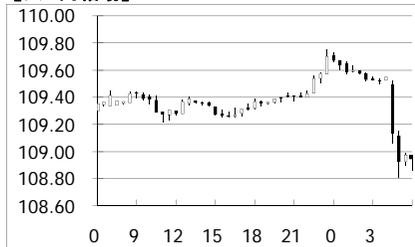
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月30日	16:00	独 GRK消費者信頼感	2月 10.8	10.3
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	1月 -0.8%/1.4%	-0.8%/1.6%
	22:15	米 ADP雇用統計	1月 213k	181k
1月31日	4:00	米 FOMC 政策金利	-	2.25%-2.50%
	4:30	米パウエルFRB議長「利上げの根拠は若干弱まった」「B/S縮小は予想より早く完了」		2.25%-2.50%

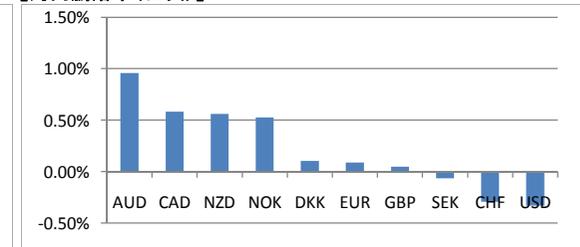
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月31日	8:50	日 日銀金融政策決定会合における主な意見	-	-
	8:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	12月 -0.5%/-2.3%	-1.0%/1.5%
	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	1月 49.3/53.8	49.4/53.8
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	4Q 0.2%/1.2%	0.2%/1.6%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	215k	199k
	23:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	1月 61.5	63.8
2月1日	0:00	米 新築住宅販売件数	11月 570k	544k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.70-109.60	1.1450-1.1530	124.90-125.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は軟調な値動き。欧州時間までは109.30-40での値動きだったが、米国時間に入り、米国株の堅調な値動きを受けてドル円も一時109.74まで上昇。しかし、その後発表されたFOMCでは追加利上げを見送りつつ、声明文では斬新的利上げの文言を削除するなど、ハト派な内容となったことで全般的にドルが売られる展開となり、ドル円も108.81まで下落した。本日は月末ということもあり、もう一段の売りには警戒したい。

東京	東京時間のドル円は109.42レベルでスタート。東証マザーズ指数の下落に引張られる格好で日経平均株価も軟調に推移する展開に、ドル円は一時109.21まで下落。しかしながら、日経平均株価が下げ幅を縮小させたことや、FOMCや米中貿易協議を控え様子見ムードも漂う中、ドル円の下押しは限定的となり、同水準での方向感のない推移が継続。109.27レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は109.27レベルでオープン。米連邦公開市場委員会(FOMC)の結果発表を控え、様子見ムードとなり、円相場は109円台前半の狭いレンジで推移し、結局109.43レベルでNYへ渡った。ポンドは1.3089レベルでオープンし朝方に1.31台を回復。しかしメイ首相は29日の英議会採決でEUとの離脱再交渉に向かうことが決まったものの、EU側は再交渉に後ろ向きであったことを背景に不安感が広がり、結局1.3091レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は米FOMC結果発表を控え、109.21~44での狭いレンジでの推移が続き109.43レベルでNYオープン。朝方は、独1月CPIが弱かったことや、米1月ADP雇用統計が予想を上回ったことから、金曜の雇用統計に対する期待にドル買いが先行し、109.75まで上昇する。その後はFOMC結果発表を控え、じりじりと109.50まで下落する。注目のFOMC声明文では、先週米紙が報じていた通りこれまでの想定よりも早期に、「バランスシート正常化の調整を準備する」とし、「徐々に利上げ」「リスクはおおよそ均衡している」等の文言が削除されたことから、ハト派と捉えられドル売りが一気に持ち込まれ、109.11まで下落する。今年から毎会合後に実施されることになったパウエル議長の記者会見では、「次の一手はテータ次第」「利上げが必要になるにはインフレが大きな部分を占める」など利上げ一時停止の思惑が強まる内容となり、更にドル売りが持ち込まれ108.81まで下落する。終盤に掛けては調整からやや戻すものの上値は重く、109.05レベルでクロスした。一方、FOMC結果発表を控え、海外市場で1.1422~50での狭いレンジでの推移が続いたユーロドルは、1.1432レベルでNYオープン。朝方は独CPI結果や米ADP雇用統計結果を受けたドル買いに、1.1406まで下落する。その後暫くはFOMC結果発表を控え、1.1420付近での推移がしばらく続く。午後は、FOMC結果とパウエル議長の記者会見内容を受けたドル売りに、ユーロドルは一気に1.1501まで急伸する。しかしこのレベルではユーロ売り意欲もあり、終盤に掛けては反落し、1.1479レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 福田・綱島